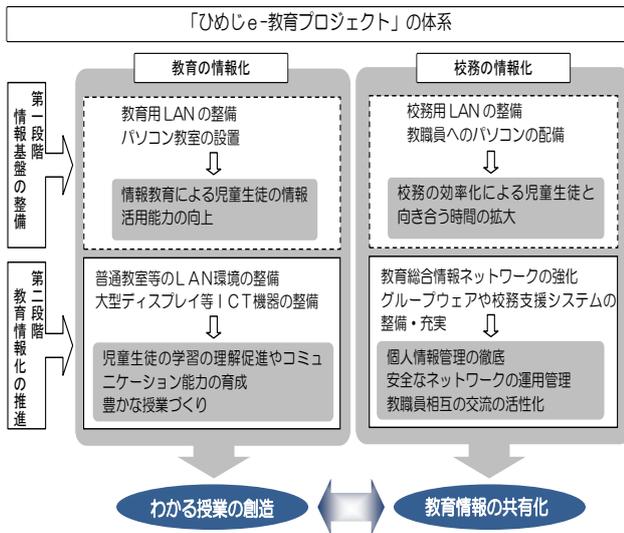


II-1 ひめじ e-教育プロジェクト

1 教育の情報化推進に向けて

(1) ひめじ e-教育プロジェクト

学校における情報通信技術（以下「ICT」という。）環境の充実や教員のICTに関する活用能力の向上などICTの有効活用を支援することにより、児童生徒の情報活用能力を育む豊かな授業づくりと本市教育情報の共有化を目指す。



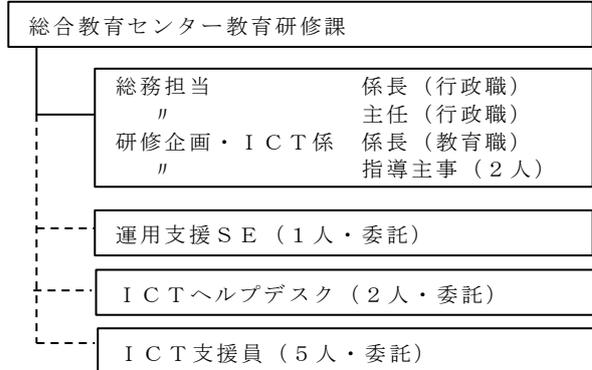
(2) ひめネットの運用

教育総合情報ネットワークシステム（ひめネット）の管理運用については、教職員が使用する教材コンテンツ配信や校務支援システム、ホームページなどの機能を有する教育総合情報ネットワークシステムの基幹設備をセンター内に設置しており、これらの機器・機能の管理・運用を行っている。

本システムの安全で適正な管理・運用を行うため、教育研修課に担当職員5人を配置するとともに、外部委託により運用支援SE（1人）、ヘルプデスク（2人）、ICT支援員（5人）を常駐で置いている。

〔システムの管理・運用に係る体制〕

※整備は、教委総務課が所管



(3) 教育の情報化推進体制

今年度、全普通教室に無線LAN、学校規模に応じて2in1タブレット Chromebook、総合教育センター保管のロボット型教材ロボホン30体を導入した。今後は2in1タブレットの一人1台環境に向け、教員のICT活用指導力のさらなる向上を図る。また、わかる授業づくりや校務の効率化を支援するなど、本市における教育の情報化を推進する。



2in1タブレットの導入

ロボット型教材ロボホンの導入



2 実績

(1) ICTヘルプデスクによる学校園支援

教職員からの校務に関する質問やネットワーク等の不具合対応のために、平成22年からICTヘルプデスクが常駐している。

現在では、ICTに関する相談窓口として教職員への周知が行き届き、利用件数も増え、教育の情報化推進や支援において重要な役割を果たしている。

また、ICTヘルプデスクによる電話相談に加えて、夜間開館日（毎月第2・第4金曜日）の15時から20時に、教職員が直接相談できる「ICTなんでも相談」を実施している。「ICTなんでも相談」では、教職員の疑問に答えるだけでなく、幅広い相談内容に対応している。

年度	件数
令和 1	5,264
平成30	3,263
平成29	2,411
平成28	2,379

【資料1 ICTヘルプデスク問合せ件数】

(2) ICT支援員による学校支援

ICT支援員が、学校園からの要請を受けて、現地に出向き支援を行っている。

ICT支援員は、各校園の要望に応じて学校園ホームページの作成・更新の支援を行うとともに、授業支援としてICT機器の接続や授業中の操作支援も行っている。テレビ会議システムやタブレット型コンピュータ等の準備をICT支援員が行うことで、教員は授業に集中でき、不具合が発生した際にも、ICT支援員が適切に対応することで、ICTを使った授業をスムーズに行うことができている。

※令和元年度総支援件数 409 件